

# 会 議 議 事 録

|             |                                                                                                                                               |     |     |                      |       |       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----------------------|-------|-------|
|             |                                                                                                                                               |     |     | 記録者 廃棄物対策G 副主査 板倉 美和 |       |       |
| 供<br>覧      | 部 長                                                                                                                                           | 次 長 | 課 長 | 課長補佐<br>・ GL         | 主査・係長 | グループ員 |
|             |                                                                                                                                               |     |     |                      |       |       |
| 件 名         | 令和5年度 第2回 龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会                                                                                                                     |     |     |                      |       |       |
| 日 時         | 令和6年2月21日（水） 午前10時00分から午前11時10分                                                                                                               |     |     |                      |       |       |
| 場 所         | 龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室                                                                                                                            |     |     |                      |       |       |
| 主 催 者       | 都市整備部生活環境課                                                                                                                                    |     |     |                      |       |       |
| 出 席 者       | <b>【委 員】</b><br>高口央、小林孝太郎、札野章俊、小川大貴、大野正雄、佐藤昌一、<br>桜井すみ子、枡田道隆、上野喜之、野村武、矢口功、池田由枝、<br>石塚伸也、佐々木廣子<br><b>【事務局】</b><br>落合部長、渡辺課長、古手課長補佐、田中副主幹、記録者   |     |     |                      |       |       |
| 欠 席 者       | <b>【委 員】</b><br>田崎智宏、大野みどり、橋本雅弘、油原正明、小澤利幸、村上春利                                                                                                |     |     |                      |       |       |
| 内 容         | 1 開 会<br>2 あいさつ<br>3 議 事<br>(1) ごみ処理基本計画（案）について<br>(2) 龍ヶ崎市一般廃棄物処理実施計画（案）について<br>(3) その他                                                      |     |     |                      |       |       |
| 事務局<br>（田中） | 本日は大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。<br>それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第2回龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。<br>開会にあたりまして高口会長からごあいさつをいただきたいと思います。よろしく願いいたします。 |     |     |                      |       |       |
| 高口会長        | おはようございます。あいにくの天気で昨日と今日気温の方もだいぶ違うようですが、皆様体調管理にはお気を付けください。時間も充分にという訳にはいかないかもしれませんが、皆様にご協力をいただき、確認しながら進め                                        |     |     |                      |       |       |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | <p>させていただければと思いますので、どうぞご協力をお願いいたします。<br/>それではよろしくお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事務局<br>(田中) | <p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入ります前に、改めましてマイク的使用方法についてご説明をさせていただきます。皆様、発言される場合はマイク下側にボタンがございますので、そのボタンを押していただいて、こちらの赤いランプを点灯させてからお話をいただきたいと思います。また、発言が終了しましたら、再度ボタンを押していただいて切断をお願いします。切断をされませんと次の方が使用できませんのでご注意くださいと思います。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。ここからの議事進行につきましては高口会長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 高口会長        | <p>はい。それでは、始めに委員の出席人数を確認させていただきます。</p> <p>委員総数20名のうち、出席者が14名、欠席者が6名でございます。出席人数が過半数を満たしておりますので、龍ヶ崎市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例第36条第3項に「委員定数の過半数により開催する」との規定のとおり、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録の作成及び公開の方法についてでございます。会議録の作成にあたりましては、発言内容のほか、発言者の氏名についても明記するものとさせていただきます。</p> <p>また、作成した会議録につきましては一度委員の皆様にお送りしまして、内容のご確認をいただいた後会議録署名人となります委員の署名をもって公開いたします。</p> <p>それではまず、会議録署名人の選任を行いたいと思います。私の方から指名をさせていただきます。今回は「小川大貴委員」と「大野正雄委員」をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>今回の会議録が作成されましたら、内容をご確認いただき、その後でご署名をお願いいたしますので、ご協力のほどをお願いいたします。</p> <p>それでは、先ほどもお話がありましたが、審議中に発言する場合には、挙手をお願いいたします。指名をさせていただいた後に、ご発言をお願いいたします。会議次第にしたがって議事を進めさせていただきます。</p> <p>協議事項1のごみ処理基本計画(案)についてですが、事前に通知いたしておりますが、前回の審議会で、審議会開催スケジュールとしましては1月、2月において開催を予定していたところですが、パブリックコメントの実施に時間を要したため、本日の会議をもって答申の最終調整とさせていただきますので。委員の皆さんご理解ご協力をお願いします。それでは、ごみ処理基本計画(案)についての説明を事務局からお願いいたします。</p> |
| 事務局<br>(古手) | <p>はい。それでは、ごみ処理基本計画(案)について、私の方から説明させていただきます。申し訳ございません、着座にて失礼させていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

ごみ処理基本計画(案)についてですが、まずパブリックコメントによる意見募集の結果及び提出された意見に対する市の考え方について報告させていただきます。

資料につきましては、事前に配布させていただきましたごみ処理基本計画(案)パブリックコメントによるご意見募集の結果について、お手元にご準備をお願いします。

パブリックコメントの実施につきましては、昨年の10月17日から一か月間の期間により広く市民より意見を募集いたしました。

結果につきましては2名の方より併せて18件のご意見をいただきました。意見の要旨及び内容、それに対する市の考え方については資料のとおりとなっております。

意見により内容を精査した上で、ごみ処理基本計画(案)への修正を行ったものについては、No.1・No.4・No.5・No.7及びNo.17となっております。そのほかの意見につきましても、本市のごみの減量・資源化に資するご意見として賜っております。

お手元の配布させていただいております、ごみ処理基本計画(案)につきましては、修正対応を済ませたものとなっております。よろしくお願いいたします。

次に、委員の皆様よりごみ処理基本計画(案)へのご意見を賜っておりますので、そちらの方でのご説明をさせていただきます。

資料につきましては、本日机の方に配布させていただいております。ごみ処理基本計画(案)について、ご覧いただきたいと思います。

田崎委員から全般へのコメントとしていただいております。

バイオマスやプラスチックのリサイクルがますます求められている。

また、高齢化や財政難への対応も益々求められるようになる。

本計画に基づき、計画的かつ着実に取り組みを進めるとともに状況変化に合わせて臨機応変に計画取組を更新、改善していただきたい。というご意見をいただいております。

これにつきましては、本計画は概ね5年ごとに見直すとしていますが、ご意見をいただいたとおり、廃棄物行政等の状況に変化があった際は、臨機応変に計画、取り組みを方針改善することといたします。

なお、令和6年度におきまして、ごみ処理広域化に向けた基礎調査業務を実施し、県で示す広域化6ブロック内での最適なごみ処理広域化の組み合わせ及びその手法について、検討を行う予定となっております。

また、マテリアルリサイクル施設を広域化する場合の効果、プラスチック資源循環促進法に係る製品プラスチックの処理及びバイオガス化施設についての検討も行うものとしております。

続きまして、ごみ処理基本計画(案)の17ページに茨城県の計画を参照されているが、表中のブロック番号が県の番号と異なっている。

龍ヶ崎市が属するブロックは、旧ブロック番号が23で、新ブロック番号が6

ではないか…というご指摘をいただきました。

こちら確認させていただきまして、表記に齟齬が生じやすい内容となっておりますので、図の方を改めさせていただきたいと考えています。

次に、現在、国が進めている広域化、集約化の政策は、焼却施設のみならず、全てのごみ処理施設が対象となっているのに、その点が述べられていない。

県の計画に於いても、粗大ごみ処理施設、資源化施設については、ブロック別の情報がある。焼却施設以外の施設についても言及することが必要である…とのご意見をいただきました。

ごみ処理広域化計画におきまして県の計画に示されている粗大ごみ処理施設、資源化施設の設置状況ブロック6を示すとともに、計画に示されている以下の内容について整理し、追記修正をさせていただきたいと思います。

内容につきましては、粗大ごみ処理施設及び資源化施設は、広域化でごみ処理量が増えることによるコストメリットがあること。焼却施設と併設することで、処理残渣を効率的に焼却できることなどから、焼却施設の広域化に合わせて検討することが望ましい。

次に、資源化するごみの種類は、「茨城県一般廃棄物分別収集に関する指針」に基づく分別区分に、使用済プラスチック製品を加えた品目を基本に検討を行うものとする。といったものが県の計画の中で表現されておりますので、こちらにつきまして整理してごみ処理基本計画(案)の修正の方を対応させていただきます。

続きまして25ページです。経費の変動が大きく、状況を的確に把握することはできない。施設の建設改良費と処理費及び維持管理費という費目を区別して、積み上げ棒グラフなどで提示していただきたい。

こちらにつきましては、ご意見のとおり費目を区別しグラフを改めます。その費目につきましては、塵芥処理費、施設整備及び施設整備にかかる起債償還費、こちらを3本建て調整を行いたいと考えております。この調整には少々お時間をいただきますので、答申に合わせたごみ処理基本計画の中で、皆様にもお知らせさせていただきます。

次に51ページ、市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツールについて類似自治体が95あるとのことだが、こういった面で類似しているのかを簡単にご説明いただきたい。また95自治体は全国から選ばれたのか、関東地方内で選ばれたのか、という点も明記いただきたい。というご意見をいただきました。

類似市町村につきましては、全国からシステムより選ばれており、「類似団体別市町村財政指数表」の区分、こちらは都市形態であるとか、人口規模、産業構造等が類似している市町村がピックアップされる結果となっております。類似市町村の選定について、以上のことを追記させていただきたいと思います。

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>続きまして74ページ、「その他の資源化」ということで、その他の品目の中でも、プラスチック対策は、現在、国際的に条約の内容が議論されているように大きな社会動向であり、取り組みの進展が期待されている。</p> <p>「4 その他」に入れるのでは無く、プラスチックの資源化を「4」と別建てとして、その他を「5」とするのが適当である。</p> <p>こちらのご意見につきましても、やはりプラスチックの問題というのはこれから益々クローズアップされる問題と感じておりますので、ご意見いただきましたように、4番に「プラスチックの資源化の検討」と別建てとさせていただきたいと考えます。</p> <p>74ページなんですけども、補足というか意見とは離れてしまいますけれども、前回の審議会の中で、ペットボトルの水平リサイクルについて、お話をいただいておりますので、こちらにつきまして、ごみ処理基本計画75ページに、ブラッシュアップの段階で、追記させていただいております。令和5年11月にサントリーとボトルtoボトル水平リサイクル事業に関する協定を締結させていただきました。</p> <p>家庭から排出される使用済ペットボトルの水平リサイクルにつきましては、令和6年4月から開始することとなっております。</p> <p>続きまして質問の方に戻ります。</p> <p>桜井委員よりご意見をいただいております。41ページです。</p> <p>昨年は環境フェアの開催について予算がないとのことで中止になり、今後開催の予定はないと対策課の方が話しておりましたが今後は開催するのでしょうか？というご意見いただきました。</p> <p>環境フェアにつきましては、昨年9月に事業の見直しを行い、今後は環境に関する活動報告や意識啓発などの機会を違う形で、かつ、より効果的な方法で設けていくとともに、他のイベント等に参加・共催するような形で進めることとなるため、3イベント等を活用したパネル展示により対応とさせていただき、1で記載する環境フェアの開催にかかる表現については、削除の方を対応させていただきたいと考えています。</p> <p>以上、ごみ処理基本計画(案)について、委員の皆様からいただいたご意見への回答とさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いします。</p> |
| 高口会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>只今、事務局から、パブリックコメントに対する市の考え方の報告及び、委員の皆様からいただいたご意見等に対する回答をいただきました。</p> <p>このごみ処理基本計画(案)の審議につきましては、本審議で終了とする予定でございますので委員の皆様にはお尋ねになりたい部分などを含めご発言いただきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 枡田委員 | <p>意見と言うことなんですけども、5ページに計画の進行管理というPDCAの図</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | <p>が載っています。これは世の中で環境だけでなく色々な場面で使われる言葉ですけれども、この環境基本計画が最初に出来たときに、平成16年くらいだと思いますけれども、この絵が載ってまして、そこにはもうひとつ、スパイラルステップアップの絵が書いてありました。毎年ブランドウーチェックアクションをやって、毎年向上させていくと。ということなんですけれども、このデータを見ているとですね、上がった、下がった、或いは、あまり向上してないというデータと読み取れるんですけれども、結局何が弱いのかブランドウーチェックアクションかという公表をしながら、なぜスパイラルアップしていかないのか、なぜなのか考える必要があるんじゃないかと思います。この龍ヶ崎市のやり方、議事録にも載っていたと思いますが、アップの部分、結局誰が責任者で、誰が見直しで、これでよしと決定しているのかといういろいろなプロセスがよくわからない。</p> <p>庁内会議で報告しているという話になっているんですが、私は企業に勤めていたのですが、企業の場合なんかは、トップマネジメント、社長なり委託された人間が、よし、これで行こうとか、いや、ここが弱いからこれもやれというトップダウン的なところがあるが、どうも資料を見ていると、毎年同じような報告がされ、新しいことが加わっていてもなかなか進展がない。平行線をたどっている。</p> <p>或いはその人口が減りましたとか、経費が減りましたとか、コロナになったとか、そういうことで上がった下がったりしているとか。ちょっとよく見えない。ここのところの、マネジメントの仕組みから見直す必要があるのでは…という風に思います。</p> <p>担当者の方は色々な計画を立てて実際、実行もされていると思うんですけれども、最後の段階でそれでいいのか、悪いのか、決断があまりなくて、何となくもそれでよかろう…みたいな、進行をしてるじゃないかという風に私、長年この審議会に出ていて色々話聞いているんですけれども。なんかそういう感じがしてなりません。ということ意見を意見として述べさせていただきます。</p> |
| 高口会長        | はい。ありがとうございます。事務局の方で何かありましたら、お願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局<br>(古手) | <p>ご意見の方賜りまして、今後の施策等に影響が及ぶような体制を構築して参りたいと考えます。</p> <p>また、この後の議題になっているごみ処理実施計画の方では、毎年毎年、来年度はこんなことに力を入れようと、小さな取り組みかもしれませんが、ごみ減量・資源の有効活用に向けて邁進していきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 高口会長        | はい。ありがとうございます。その他、無いでしょうか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 池田委員        | はい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高口会長        | 池田委員、お願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 池田委員        | すみません。簡単なことで申し訳ないですけど、わからない用語がありまして、75ページの令和5年11月のサントリーとボトルtoボトル水平リサイクル…と書いてありますよね。ペットボトルの水平リサイクルを令和6年4月から開始しますと書いてありますが、この水平リサイクルというのは、今までのペットボトルのリサイクル体制とどんな風に違うのでしょうか？                                                                                                                                                                                               |
| 事務局<br>(田中) | <p>ありがとうございます。</p> <p>この水平リサイクルなんですけれども、住民の皆様には特段大きく変わるところはなくてですね、収集運搬についてはこれまで通りという形になります。</p> <p>何が違うかという、市の方で収集をして塵芥処理組合の方に搬入をして、そこからリサイクル業者へこれまで引き渡しされていたのですが、リサイクルの部分でペットボトル以外のものにも生まれ変わっていたのが従来のもので、もちろんペットボトルにも再生されていたのですが、100%にはペットボトルに再生されないということで、今回サントリーと新たに協定を結んでこの取り組みを行ったのは、回収されたペットボトルが100%もう一度ペットボトルに再生されるとのことで、循環利用のところで効果があるとのことで今回の協定を結んだ形になります。</p> |
| 池田委員        | ありがとうございます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 栢田委員        | 私も今その所を思ったのですが、それはどこのメーカーのペットボトルも、全部サントリーなんのでしょうか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事務局<br>(田中) | 龍ヶ崎市が収集するものについては、どこのメーカーが製造したペットボトルであっても、サントリーと締結してリサイクルされるという形ですので、住民の皆様がコカコーラとかそういった会社のもので市のリサイクルに出した場合でも、サントリーと協定を結んだということで、ペットボトルとして生まれ変わるという形になります。                                                                                                                                                                                                                |
| 石塚委員        | それに関連した話なんですけど、通常ペットボトル潰してもいいよっていうのと、現状のままでいいよっていうのがあると思うのですが、サントリーの場合は潰して駄目なのでは？                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局<br>(田中) | <p>現在、水平リサイクルの関係で、回収後の話なんですけれども、そのあとのリサイクルのルートが変わるということを踏まえまして、ただいま市の方としては、龍ヶ崎地方塵芥処理組合の方と、潰して収集してもよいかというところで調整をしている段階です。</p> <p>改めて話が決定しましたら、りゅうほ一等で改めてご案内するような形で現在調整を進めているところです。</p>                                                                                                                                                                                   |
| 事務局<br>(渡辺) | 補足なんですけれども、潰しても潰さなくてもどちらでもいいですよというスタンスにしていきたいと思っています。2リットルのペットボトル等は潰したほ                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | <p>うが収集しやすいし、お年寄りの方は固いペットボトルは潰しづらいと思いますので、市としては、どちらでもよいというスタンスにしていきたいと考えています。今後、調整をしていきます。</p>                                                                                                                                                                 |
| 石塚委員        | <p>基礎的な事で申し訳ないんですけど、25ページの表の3の17で解釈をしておきたいのですが…。ごみ処理経費というのはどういう算出なんですか？</p>                                                                                                                                                                                    |
| 事務局<br>(古手) | <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>こちらに掲載しております龍ヶ崎市におけるごみ処理の経費については、塵芥処理組合の経費、ごみを収集する経費といったものが全ての金額の合計となっております。</p>                                                                                                                                                      |
| 石塚委員        | <p>塵芥処理組合に負担金として払っているわけですね。施設の償還金も入っているんですか？</p>                                                                                                                                                                                                               |
| 事務局<br>(古手) | <p>現在、この金額にはそちらの方も含まれていますので、別建てで修正したいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                |
| 石塚委員        | <p>償還金は別に考えて、実際のごみ処理にかかる費用を出した方がわかりやすいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                               |
| 事務局<br>(古手) | <p>そのような形で修正対応させていただきたいと考えます。</p>                                                                                                                                                                                                                              |
| 高口会長        | <p>はい。ありがとうございます。その他いかがでしょうか？</p> <p>では以上でご質問等が無いようですから、今いただいたご指摘については再度調整を行うこととし、それを踏まえて答申に向け準備を進めさせていただきたいと考えます。</p> <p>また、その他を含め、軽微な修正が出るかもしれませんが、その際は私と事務局に修正をご一任いただきますよう、お願いいたします。よろしいでしょうか。</p>                                                          |
| 全委員         | <p>了承しました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 高口会長        | <p>はい、ご承認ありがとうございます。</p> <p>それでは引き続き事務局においてはご対応をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、議題(1)議事はここまでといたしまして、次に(2)令和6年度龍ヶ崎市一般廃棄物処理実施計画(案)に議事を進めてまいります。</p> <p>この実施計画(案)については、ごみ処理基本計画において定める各施策に対する各年度の取組を定めるものであります。</p> <p>委員の皆様からは事前にご意見をいただいておりますので、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局<br>(古手) | <p>私のほうから引き続き説明をさせていただきます。協議事項(1)」でごみ処理基本計画(案)のご審議をいただきました。その施策に盛り込まれているも</p>                                                                                                                                                                                  |

のをさらに細かく毎年度どの様なことを市で取り組むのかを反映させているのが、令和6年度龍ヶ崎市一般廃棄物実施計画(案)となっております。こちらにつきましては、事前に委員の方へは資料を配布しましてご意見・ご指摘の方をいただいております。

こちらについて本日、配布させていただいております資料を基に説明させていただきます。田崎委員より7ページ関連のご意見です。今年も恵方巻の無駄な廃棄が報道されたように、必要以上の仕入れが行われ、食品ロスの発生だけでなく店舗の経営を苦しくさせている状況があります。事業者にはこのような点の指導・啓発を行うとともに、消費者にはこのような実態があることを広報するようにしていただきたい。

こちらにつきまして、本市においても令和4年度では「てまえどり」の推進、令和5年度では「必要な量を購入・食べきり」に注目したPR活動を実施いたしました。

食品ロス削減の取り組みについては、事業者並びに消費者の意識醸成が必要であるためいただきました情報を参考とさせていただき、引き続き指導啓発に注力してまいりたいと思います。

令和6年度におきましては、今いただいた恵方巻の事業者による廃棄、食品ロスに向けた取り組みを内部で検討しております。

続きまして、8ページ、国・県への要請です。

リチウムイオン電池が原因による火災発火の問題は深刻である。火災保険へ加入するとともにその保険料の一部補填を電池及び電池利用製品メーカーに求めること、施設が利用できない期間における代替措置を想定しておくことの2つに取り組んでいただきたい。

本市においてもリチウムイオン電池による火災等の問題については認識しているところであります。収集運搬時にパッカー車に詰め込まれることを防ぐため本市においても一般社団法人 JBRC と連携したリサイクルを展開しており引き続き市民への周知を行い適正安全に処理を行って参りたいと考えております。

ご意見をいただきました製品メーカーに保険料の一部補填を求めること及び、施設が利用できない期間における代替え措置につきましては、現時点では不具合の生じる事態には至っておりませんが、適正な処理体制の更なる確保に向け本市の一般廃棄物中間処理施設である龍ヶ崎地方塵芥処理組合並びにその関係市町において事例等の調査研究や情報共有を行い、その対応策について引き続き調査検討してまいりたいと考えております。

2-1基本計画のところで指摘したように、プラスチックとその他に分けて記載すべきである。

取り組みとしてはプラスチック製品とプラスチック容器包装の一括回収を行っている自治体が少しずつ増えてきていることから、他市町村の動向を調査することを加えるべきである。

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>これにつきましては、先ほどのようなごみ処理基本計画と同じように項目を分け修正を行っております。</p> <p>高齢化社会の対応です。</p> <p>高齢化などが進む中、ごみステーションの運営が難しくなっている自治会が全国的に増えている。市と自治会がコミュニケーションを取り、一緒になって問題解決を図ることが大切である。</p> <p>また、全国的に見れば自治会非加入住民によるごみ出しを拒否する自治会が訴えられ、裁判で負ける事例が出ている。ごみステーション利用のために高額な自治会費を徴収する場合は、十分なアカウンタビリティが自治会側に求められることを認識してもらう必要があるだろう。一方、ごみステーションの運用には地区住民の協力や一定の負担が必要なことを丁寧に説明する必要もある。</p> <p>龍ヶ崎市に於いても地道な取り組みを進めていくことを期待する。</p> <p>本市においても高齢化に伴い、自治会運営が難しいとの意見を伺うことがあり、市と自治会がコミュニケーションを取り、状況に即した対応が求められると考えます。</p> <p>高齢化社会へ対応の一環として、市では、「おはようSUN訪問収集」による戸別収集を実施しておりますが、戸別収集申請件数につきましては、年々増加傾向にあります。事業の継続性の担保は喫緊の課題となっております。</p> <p>また、ご意見にもあります自治会非加入住民にかかるごみ集積所の利用についての相談、問い合わせをいただくことがあります。ごみ集積所の利用やその管理運営方法等につきまして、今後も丁寧な説明を行ってまいりたいと思います。</p> <p>最後ですが、令和13年度以降の体制としまして、非常に重要なところであり、記載のとおり着実に議論・検討を進めていただきたい。</p> <p>こちら、ごみ処理広域化に対するご意見となっております。</p> <p>ご意見をいただきましたとおり、広域化を踏まえたごみ処理体制の確保に努めて参りたいと考えております。</p> <p>以上が、いただきましたご意見に対する回答となります。</p> <p>追加で申し訳ありません。</p> <p>こちらの資料12ページ、生活排水処理実施計画について修正処理を行っております。ごみ処理基本計画での令和6年10月1日の人口と不一致しておりましたので、修正を行っております。</p> |
| 高口会長 | <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>事務局より委員からいただいた意見への説明がありましたが、その他お気付きの点がございましたらご発言をお願いいたします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 野村委員 | <p>9ページ、排出モラルの向上を図るため、違反ごみ出しに対する分別指導の強化を図りますとありますが、どのような取り組みですか？</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局<br>(古手) | <p>現在、市では相談を受けた場合現地確認をさせていただいております。</p> <p>現状を精査した上で、そちらの集積所の方に、分別の啓発につながるポスターの掲示を行っている状況でございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 野村委員        | <p>私、出し山に住んでいるのですが、外国人のごみ出しルールについてなかなか理解してもらえないので、どうしたらよいか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局<br>(古手) | <p>他の地区でも同様の相談を受けており、ごみ出しチラシについても全ての言語の対応は出来ていないので、現状あるもので分かりやすい表現で周知している状況です。市としても外国人のごみ出しマナーについては、問題と認識しているところですので引き続き対応を強化していきたいと考えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 柘田委員        | <p>いろいろアンケートを取ったり、意見を求められると事務局の判断でこれにどんどんどんどんプラスされるようなんですけど、市役所側がね、人の人数とか時間とか関係すると思うので本当に追加していいのかどうかというのが疑問なんですけれどもどうなんですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局<br>(古手) | <p>確かに令和5年度から引き続きの施策というのも盛り込まれておりまして、内容はふんだんに作っておりますが、令和6年度に関しましては、星印のついたところにつきまして取り組みを強化できたらいいなと考えております。舩田委員が仰る通り継ぎ足し継ぎ足しになってしまうと、我々もパフォーマンスが落ちることとなりますので、スポットを当てて対応させていただきたいと考えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 柘田委員        | <p>確かに私なんかもそう思います。重点的にやらないと効果があるところを重点的にやる施策をしないと、どこかで破綻すると思います。それともう一つ、この表現の中に書かれてるんですけども、市や行政がね、やることと、それから、やってほしいこと、その区別をはっきりしたほうが良いと思います。先ほどの外国人対策についても、市はここまでやる、その代わり自治会はこうやってくれ…家主さんはこうやってくれ…とかこういったことをメリハリをつけないと、やっぱりなんでもかんでも責任が市が悪い悪いとなっちゃう可能性があると思うんで、ISO14000 でも、直接管理できるところと、影響を及ぼすことができるところとは区別してちゃんとやってくださいと国際規格で決まっているところなので。決して悪いことではないしそうしないとやっぱりうまくいかないんじゃないかと思います。</p> <p>啓蒙というのがいつも問題になるんですけども、市はりゅうほーで出します、パンフレットを配っています、だけど効果がどう出ているのか、効果があつたのかどうか、それもよくわからないんですよ。ここまでは市がやるけど、ここから先は住民の方がお願いします…という様なやり方をしないと上手く伝わらないんじゃないかと思います。</p> |
| 高口会長        | <p>はい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|             |                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局<br>(古手) | ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。                                                                                                                                                                                                         |
| 高口会長        | はい。桜井委員。                                                                                                                                                                                                                              |
| 桜井委員        | さきほどの外国人のごみの出し方なんです、以前市のほうからリサイクルの分別の仕方英語版をいただいて、ラミネートして貼っていただいたんですが、そのせいかどうかは分からないんですが、だいぶ良くなったような感じがします。ありがとうございます。                                                                                                                 |
| 高口会長        | はい。石塚委員。                                                                                                                                                                                                                              |
| 石塚委員        | 本当に私的な意見なんです、7ページ1-2、このなかでこれはおそらく基本計画のごみ処理の課題というところから出てきているところだと思うんですけど、家庭系ごみ有料化の検討という文字があるんですね。これは最終的な対策であって、一番先にこれを書くちょっと誤解を招くのではないかと思います。どうでしょうか。                                                                                  |
| 事務局<br>(古手) | こちらの表記順番はごみ処理基本計画にそって落とし込みさせていただいており、従前から同様の表記となっておりますので、それに従っておつくりさせていただいております。                                                                                                                                                      |
| 石塚委員        | 令和6年度の見させていただいて一般市民がそういう文章を見たときに、一番最初にごみの有料化っていうことができちゃうと、これは有料化にするのかと…というような誤解を招くんだと思うんですよ。ですから最終的には有料化もあり得るんですよという考え方じゃないと、昔から有料化しますよ…という表現だと、何かおかしいんじゃないかと思っただけです。                                                                 |
| 事務局<br>(古手) | ご意見として賜ります。ありがとうございます。                                                                                                                                                                                                                |
| 高口会長        | 佐々木委員、お願いします。                                                                                                                                                                                                                         |
| 佐々木委員       | 令和6年度ごみ処理実施計画(案)の1ページのところなんです、資源物排出量の項目の中に木くず類・草という項目があるのですが、ごみ分別について草を資源ごみとしてという項目は無かったと思いますが、令和6年度から草も資源物として回収できるようになるという方向でいくようになるのでしょうかということ、そうなるとごみ袋とか一般家庭で草といってもどれくらいの量であるかわからないところもあると思いますが、草が資源として扱われることは少し疑問に思いましたので教えてください。 |
| 事務局<br>(古手) | 木くず類・草というところですが、市民の皆様には木くず類の資源化というところで現在ご協力をお願いしているところです。こちらの草については市民の方から集めているというものではなく事業者による草木の除草作業により排出されるものにつきまして市内の再生事業者であるとかに持ち込んで資源                                                                                             |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | 化を行っているものの数量がこちらに計上されているため、このような表記となっております。説明が不足していて分かりづらくて申し訳ありません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 佐々木委員       | 分かりました。新しい項目ができたのかと思い質問させていただきました。ありがとうございました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 事務局<br>(古手) | こちらにつきましては、注釈のほうを入れさせていただき対応を行いたいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 高口会長        | はい。その他はいかがでしょうか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 石塚委員        | 今後のスケジュールですが最終的に基本計画ができあがったら、市のホームページあたりで掲載されることになりますか？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局<br>(古手) | 今後のごみ処理基本計画策定のスケジュールですが、今日皆様へ説明しましたパブリックコメントによる市の考え方について、こういった意見があり、こういった市の考え方ですといったものを市民の皆様へ周知させていただきます。それに併せまして、先ほど委員の皆様から頂きましたご意見を踏まえブラッシュアップしたものがごみ処理基本計画となりますので、こちらにつきまして審議会より市長のほうへ答申といったかたちで提出させていただき、これにつきまして市民の皆様へは告示されることとなりますので、委員の皆様へは配布させていただき、市民へはホームページにより公表となります。                                                                                             |
| 高口会長        | <p>その他に無いようでしたら、今いただいた御指摘については事務局において確認し対応をお願いしたいと思います。宜しくお願いいたします。</p> <p>議題(3)その他についてですが、本審議会是一般廃棄物の減量等に関する事項を審議するため招集いたしておりますので、これに関連した協議で何かございましたらお願いいたします。</p> <p>無いようでしたら、これにて審議会を閉会させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。一度事務局にお返ししたいと思います。</p>                                                                                                                                |
| 事務局<br>(田中) | <p>高口会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>また、本日は慎重審議ありがとうございました。</p> <p>ごみ処理基本計画につきましては、今いただいたご意見等を踏まえ高口会長と答申に向けて調整を行い、3月末までに市民への告示を行う予定としております。</p> <p>修正を行ったごみ処理基本計画につきましては、完成後、委員の皆様へお届けしたいと考えておりますので、お手元に届きましたらご確認いただけますよう、お願いいたします。</p> <p>また次年度の審議会についてですが、令和5年度ではごみ処理基本計画策定に係る審議による開催をお願いして参りました。</p> <p>引き続き新たな課題等の協議をお願いする必要がある場合は、会長より皆様へ会議の招集をさせていただきますので、ご出席いただきますようお願い</p> |

|  |                                                                                                         |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>い申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして令和5年度第2回廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>               |
|  | <p>令和6年2月21日に行なわれた会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和6年4月2日</p> <p>議事録署名人 小川 大貴</p> <p>議事録署名人 大野 正雄</p> |